

Title	日本における医療機器産業発展のための一考察：産業政策分析より
Sub Title	
Author	矢野, 真琴(Yano, Makoto) 田中, 滋(Tanaka, Shigeru)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2801号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2801

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2012 年度）

論文題名

日本における医療機器産業発展のための一考察
—産業政策分析より—

主 査	田中滋 教授
副 査	大林厚臣 教授
副 査	中村洋 教授
副 査	

2013年 1月 7日 提出

学籍番号	81131039	氏 名	矢野真琴
------	----------	-----	------

論文要旨

所属ゼミ	田中滋 研究室	学籍番号	81131039	氏名	矢野真琴
(論文題名)					
日本における医療機器産業発展のための一考察 —産業政策分析より—					
(内容の要旨)					
<p>従来医療機器の発展は、新たな治療方法の確立や効率的な予防・検査方法を可能にするなど、医療の発展や国民の健康増進・QOLの向上に大きな貢献を果たしている。日本においても、医療機器は最新の分野におけるイノベーションを積極的に取り込み、急速な進歩を遂げている。加えて、近年日本は高齢化社会という長期的な政策課題に直面しており、急性期医療と長期慢性医療の両面で医療サービスの拡大が必要不可欠である。GDP200%近くに達した国家財政赤字を抱える状況下で、さらなる医療サービスの増大が求められている現状は、医療における新たな効率化の方法を見出し、実施しなければならないことを示し、医療機器にもその担い手の一つとして期待が高まっている。</p> <p>医療ニーズに加え、高齢化に伴う医療効率の向上が経済にとって緊急課題であることを、経済成長により国力を高めるという緊急性と合わせて考えれば、今こそ、日本の医療機器産業の発展を加速化させる時であろう。産業を構成する民間企業の力を引き出し、成長を促す基盤を固める必要がある。しかし、日本においては過去に官民を挙げて様々な政策を行ってきたが、期待に沿う結果が得られていない。これはなぜなのだろう。</p> <p>本論文では、現在までの医療機器産業政策がなぜ期待される発展を促せていないのかを問題意識とし、この分野の発展における政策のあり方を研究した。</p> <p>まず、医療機器を取り巻く環境を概観し、その特徴を捉えた。医療機器は、人間の生命に深く関与するため、わが国においては厚生労働省の定めにより「薬事法」に基づく規制が設けられている。またその保険適用についても政府の規制下にある。従ってその発展には、政府による介入が重要なファクターとなる。また、国内外の市場規模について分析を行い、各地域とも継続的に成長する見通しであることを述べた。</p> <p>次に、これまでの産業振興政策およびその推進体制について考察を行った。医療機器産業が初めて国の政策として取り上げられたのは2000年のことであり、技術革新が進めば、産業競争力も向上し経済が発展するというシナリオが描かれていた。また産業振興を行う所管省庁は、文部科学省、厚生労働省、経済産業省など複数の省庁に跨っており、其々の目的も異なることから一貫した政策を採るのが困難であることを指摘した。そして、医療機器産業を扱った研究および産業政策を扱った研究のレビューより、過去に成功している政策にはマネジメントの世界と同義の「戦略」の視点が存在していること、残念ながら過去に公表された医療機器産業政策にはその視点が欠けているのではないかと示唆を得た。</p> <p>そこで、経営戦略について概観し、「戦略策定の要件」を定義し、政策への転用可能性について検討した結果、優れた戦略には「戦略策定の要件」が内包されており、それは政策でも同じであることを明らかにした。そのため、現在公表されている「医療イノベーション5か年戦略」を分析事例として取り上げ、「戦略策定の要件」が内包されているか分析を行ったが、結果は戦略視点の不在が指摘された。なぜこのような結果となったのか、環境分析とのリンク、および政策の目的などの視点から考察を行い、戦略論の観点を政策立案に活かすことが重要であることを考察した。</p>					